

誇りと活力あふれる 夢(まち)づくりを目指す

令和5年第1回町議会定例会が3月7日から10日まで開かれ、令和5年度予算案などが審議されました。
徳永町長が行った町政執行方針と、岩原教育長の教育行政方針の概要をお知らせします。



令和5年度町政執行方針
町長 徳永 哲雄

コロナ禍に勝ち、強い弟子屈町へ
本年は私が町政をお預かりして23年目を迎え、昨年末に6期目の折り返しとなり、節目の年となります。残された任期もさまざまな施策を推進し、更に町政を進めますので、引き続きよろしくご厚意申し上げます。
令和4年度からスタートした第6次弟子屈町総合計画は2年目を迎えます。第5次総合計画で推進してきた基本的な理念を継承しつつ、次代の若い世代が、暮らしの中で、より「夢」や「希望」を持っていただけるようなまちづくりの取り組みを進め、すべての住民の皆さまが「豊かさ」や「幸せ」を感じることができ、町を目指し、将来にわたり持続可能なまちづくりを推進します。
新型コロナウイルス感染症の発生から3年が過ぎ、いまだ収束の兆しが見えませんが、一部行動制限が緩和されるなど、外国からの観光客も含め客足が戻りつつあります。世界的な物価高騰もあり、厳しい情勢は続きますが、この機会を逃すことなく、停滞したまちの経済活動がより活発になるよう取り組みます。
また、基幹産業である農業と観光については、地域全体で守りつつ、より発展、成長するよう関係機関とも連携を図りながら取り組みを進



㈱フィールドおよび㈱テシカガタウンラボと基本契約を締結

めます。その中でも、中心市街地再構築や川湯温泉街の再生、アイヌ文化振興などは、持続可能な新たなまちづくりを具現化すべく、最重要事業として進めます。
加えて、再生可能エネルギーなどの活用による新たな産業の循環型経済構築と雇用の場の創出を推進し、引き続き「てしかがゼロカーボンシティ」の実現を目指します。
これらに合わせ、取り組みを進めるうえで、担い手不足も大きな課題となっています。子どもから高齢者まで全ての世代が安心、安全に生活を送れるよう町民サービスの向上、充実に努め、人口減少対策を継続します。特にこれからの弟子屈町を担う子どもたちには、地域で活躍できる人材として成長していただき、一度まちを離れても、「このまちに戻りたい」「このまちで夢を実現したい」と思っていただけという、まちづくりを進めます。
※は新規事業となります。

環 人と自然が共生する夢づくり

環境保全の推進

- ▽弟子屈町温暖化対策実行計画(区域施策編)の実践。
- ▽地熱資源開発事業を行っている湯沼アトサヌプリ地区で掘削した340℃を超える井戸の発電事業など今後の方針を検討。

生活環境の充実と向上

- ▽統合した弟子屈町消防団員の安全とチームワーク強化のための防火衣と、老朽化した水槽付ポンプ自動車を更新。
- ▽全国で多発している組織的な強盗殺人などに対する、地域の防犯対策や消費生活の安全を確保。
- ▽町営公衆浴場「泉の湯」が令和7年度開業予定の「(仮称)中心市街地複合型地域観光交流拠点施設」へ機能移転するまでの適切な運営、スムーズな移転の準備。
- ▽人口減少や少子高齢化、遠方居住による墓や納骨堂の継承管理が困難な方の増加から、複数の人を同じ墓で埋葬する「合葬墓」の令和6年度建設に向けた実施設計。



統合した弟子屈町消防団による行進

環境と共生する基盤の整備

- ▽中心市街地再構築事業として、施設の運営と基本設計を行う「㈱フィールド」とともに、まちづくり会社「㈱テシカガタウンラボ」とも連携し、町民の皆さまからの意見を反映させた基本設計と実施設計。
- ▽エリアリノベーションとして中心市街地の賑わいを取り戻すため、積極的な市街地整備。
- ▽弟子屈原野9線および奥春別西10号三笠線防雪柵新設工事を継続。
- ▽川湯朝霧橋線の舗装補修工事を実施。
- ▽橋梁長寿命化計画に基づく下仁多橋の改修継続、新たに緑2号橋および盛雲橋の橋梁点検や修繕を実施。
- ▽既存橋梁の計画的な点検や修繕の実施、地域の道路網の安全性と信頼性の確保。
- ▽住宅環境充実のため、緑団地1棟4戸、古丹団地1棟2戸を建設、令和6年度建設地調査等を実施。
- ▽民間住宅の新築・リフォーム支援として、住宅建設促進事業及び民間賃貸住宅の建設・リフォームなどに対する支援を継続。
- ▽活用できる空き家の調査を実施、空き家バンクなどの活用を推進。
- ▽上水道事業、農業用水道について、管路の耐震化を継続。
- ▽温泉事業について、令和4年度調査設計の弟子屈小学校への温泉

- ▽暖房導入、温泉熱の活用を推進。
- ▽各泉源の湯湯管エア管の入れ替えや送湯ポンプの更新。
- ▽下水道事業について、耐用年数を経過し老朽化した弟子屈浄化センターおよび汚水中継ポンプ所の機械電気設備の更新、安定した汚水処理の推進。
- ▽下水道計画区域を除く地域での合併処理浄化槽設置費用の一部助成を継続。
- ▽下水道事業特別会計の地方公営企業法の適用により、令和6年度からの企業会計化を準備。
- ▽「弟子屈町地域公共交通計画」を策定、公共交通の維持と鉄道やハイヤーなどと連携し利用促進。
- ▽観光周遊交通としての交通体系確立と公共交通との連携による利活用を促進。

活 活力・活気・雇用を生み出す夢づくり

基幹産業の更なる強化

- ▽道営草地畜産基盤整備事業弟子屈地区の圃場整備を継続。
- ▽国営総合農地防災事業による、圃場の機能回復のため、令和6年度着手に向けた生態調査や土壌調査などを実施。
- ▽馬鈴薯の病害虫対策、小麦・ソバの品質・生産性向上を図る畑作生産基盤強化事業や持続的畑作生産体系確立緊急支援事業の推進。

- ▽畜産・酪農の生産性・収益力強化を目的に、和牛・乳牛の多種経営を推進し、生産基盤を強化。
- ▽弟子屈町農業担い手育成センターによる、就農に向けた研修から就農後の経営指導など、ソフト・ハード一貫したサポートの実施、担い手の確保。
- ▽畑作パートバンクや酪農ヘルパー利用組合への支援を継続。
- ▽農業者の労働時間の短縮や作業効率向上のため、国の事業を活用したスマート農業の導入支援。
- ▽摩周メロン・摩周そば・摩周和牛の安定生産やブランド力強化のため、流通対策や戦略的PRを実施。
- ▽弟子屈町特産品を創出するため、ワイナリーの建設、チーズ工房の改修整備。
- ▽国や道の補助を有効に活用した間伐・植栽を適切に実施し、町有林および民有林を保全。
- ▽森林環境譲与税による、道産木材の有効活用を計画的に推進。
- ▽観光地域づくり法人(DMO)を中心に、観光振興計画の着実な実行と、地域が稼ぐしくみ作り、ブランドディング、マーケティングなどを行うための支援を実施。
- ▽今後、増加が見込まれる外国人観光客や、9月に開催される「アドベンチャートラベル・ワールドサミット北海道大会」を含めた誘客対策を実施。
- ▽国立公園満喫プロジェクト推進

のため、観光資源磨き上げ連携協定や川湯温泉街の廃屋解体など、温泉街の景観整備や再整備計画策定、観光地磨き上げ、ひがし北海道を縦断するロングトレイルなどのアクティビティを充実。

雇用を支える産業力の向上

- ▽水産資源保全に向けた、屈斜路湖の資源保護や産業の確立を推進。
- ▽3年目となる釧路北部雇用創造協議会を中心に、新たな雇用創造に向け、企業向け講習会や新規雇用希望者とのマッチングを実施。
- ▽企業振興促進条例に基づき新たな事業所や宿泊施設の誘致。

暮

誰もが安心して暮らせるまちづくり

健康づくりの推進と医療の充実

- ▽「元気でしかが21」を基本に、特定健診や各種がん検診の受診率向上を推進。
- ▽川湯地区「医療法人共生会川湯の森病院」での個別健診が可能となり、受診機会を拡充。
- ▽糖尿病性腎症重症化予防対策の一環として若年世代の健診受診の定着化に向け、30歳代特定健診や満40歳特定健診無料クーポン券交付により、生活習慣病を早期に発見、重症化予防を推進。
- ▽生後1〜5歳までの乳幼児対象の「おたふくかぜ」予防接種費用

育

豊かな心を育て、文化を大切にすべく夢づくり

学び環境の充実

- ▽生きる力を育む学校教育の充実を図り、「知・徳・体のバランスのとれた力」を身に付けるための学習活動を推進。
- ▽地域連携校となる弟子屈高等学校は、「弟子屈高校の教育を支える会」が中心となり、地域で学校運営を支えるコミュニティ・スクールを導入。
- ▽1人1台のタブレット学習の定着、校外活動でも日常的に使われるなど、新しい知識・情報・技術を学ぶ環境を充実させ、デジタル化時代に対応した学習環境の整備。
- ▽赴任する教職員が快適な生活を送れるよう、教職員住宅の水回りを中心に計画的な改修を実施。
- ▽学校給食の無償提供を弟子屈高校まで拡充。

生涯学習の推進と文化の継承

- ▽多様なニーズに対応する幅広い学習機会を提供、生涯学習の推進。
- ▽アイヌ文化の更なる普及伝承を目指し、北海道大学と連携した「屈斜路コタンアイヌ文化アーカイブ事業」など、「屈斜路コタン地区アイヌ文化等拠点整備事業」を推進。

の一部、風しん抗体価検査や高齢者肺炎球菌ワクチンなどの助成、各予防接種の勧奨を継続。

- ▽自殺者減少のための「いのちを支える弟子屈町自殺対策計画」に基づきより実効性の高い対策を推進
- ▽地域医療の中核である摩周厚生病院に対する各種支援を継続。本町の実情にあった病床機能の見直しについて厚生連と協議。
- ▽摩周厚生病院の常勤医師を4名体制に拡充、老朽化した設備や医療機器更新への支援を継続。
- ▽新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけ、「2類」から「5類」への引き下げにともなう感染対策の変更。

子育て・福祉環境の充実

- ▽地域全体で支え合いながら暮らすことができるよう、各種団体や地域住民とともに、支え合い体制の充実と人材の確保、育成に努め、円滑に福祉サービスが提供できる環境づくりを推進。
- ▽生活困窮者やひとり暮らしの高齢者などが、自立し安定した生活が送れるよう支援を実施。
- ▽アイヌ政策推進交付金を活用し、古丹生活館やコタン共同浴場など必要な施設整備の実施設計。
- ▽出産と育児の支援体制を充実させ、産前、産後ケア事業と産前、産後サポート事業を継続し伴奏型相談支援を強化。
- ▽赤ちゃんすくすく応援券交付事業

人

行動する人を育てるまちづくり

協働の推進

- ▽地域づくりに必要な人材として地域おこし協力隊を募集、定住までを見据えた活動支援を継続。
- ▽男女平等参画社会を推進し、更には、年齢や性別、人種・宗教・趣味趣向などさまざまな属性の人たちが活躍できるまちづくりを推進。

交流の推進

- ▽自治会が行う各種活動や地域コミュニティ施設の活用を支援し、自治会の加入率向上を推進。
- ▽鹿児島県日置市との姉妹都市交流盟約40周年記念事業を実施。
- ▽移住対策として、地域おこし協力隊の移住対策支援員による移住専用の町公式LINEの立ち上げや完全オーダーメイド移住体験プログラム、ワーキングホリデーなど新たな取り組みの推進。
- ▽観光客、ふるさと納税者、SNS登録者などの関係人口を増やすため、移住につながる当町の魅力を情報発信。
- ▽人権相談窓口の開設、子どもたちへの人権教室などを開催し、人権意識の啓発を推進。
- ▽北方領土返還運動や戦没者慰霊事業を通し平和への取り組みを推進。



子どもたちの「夢」を叶えるまちづくり

- ▽業を継続。
- ▽高校生までの医療費実質無料化を継続。
- ▽保育園や認定こども園の保育料と副食費を完全無償化。
- ▽川湯保育園が「楽しく夢のある」保育園として、令和6年4月の開園に向け、園舎改築工事に着手。
- ▽認定こども園まじゅうについて、当町の拠点施設として保護者が安心して利用できるよう、施設運営などへの支援を継続。
- ▽こども食堂など、官民一体となった「子どもの居場所づくり推進事業」への支援を継続。
- ▽子育て支援センターが保健師、保育士と連携し、転入直後の環境変



姉妹都市の永山由高日置市長と徳永町長

公

誰でもまちづくりに参加することができるまちづくり

安定した行財政運営

- ▽各種研修や人事評価制度の充実。
- ▽職員間の連携を密にし、それぞれの能力、資質の向上、人とのつながりの構築、組織及び個人の育成。
- ▽町税の適切な課税、キャッシュレスや新たな決済方法導入など、税を納めやすい環境づくり。
- ▽効果的な滞納整理による公平な税負担の実現。
- ▽ふるさと納税の一層の返礼品の充実と、寄付者への使途と情報提供を実施。

住民と行政の新たな架け橋づくり

- ▽広報でしかが、町公式ホームページの充実、SNS、テレビのデータ放送などを活用した、町民向けの情報提供を充実。
- ▽マイナンバーカードを基にした行政のデジタル化、行政手続きのオンライン化のさらなる普及、町民の皆さまへの利便性向上によるデジタル・ガバメントの推進。

第6次総合計画の基本理念である「全ての住民が、暮らしに満足を感じる、次代に夢を託せるまちづくり」を念頭に、未来を見据えた効果的・効率的な施策実施を最重点として、厳しい財政状況であっても、町民の皆さまに対し、目配りの効いた財政運営を行います。

今後、さまざまな課題に対応するため、先に述べました施策を着実に実施することで、第6次弟子屈町総合計画の将来像、「水」と「森」を守り、「人」が共に輝く、誇りと活力あふれるまちづくりのまち「弟子屈」を実現するため、将来にわたり持続可能なまちづくりを全力で進めます。